

平成29年度の学校評価(自己評価結果等)

本校の教育目標	1 生きて働く知性 2 豊かな心と礼節 3 たくましい気力と体力		
本年の重点目標	自主・自律を育む教育の推進 セレンディピティーを鍛え、地域に愛され、地域の誇りとなる学校づくり		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
防災教育 (総務部)	実践的な防災体制の確立	① 現行の防災体制の改善をし、生徒の意識の向上を図る。 ② 防災情報を周知設定し、状況に応じた迅速な行動様式の確立を目指す。	① 防災訓練は年3回の実施は、予定通り実施でき、8月の防災訓練で、シェイクアウト訓練、11月の避難訓練後に防災学習として防災マップを配布した。防災委員を今後さらに活用し、防災意識を高めていく方法(消火器の使用方法や、煙の部屋の中を退避するなど)を考案していきたい。 ② きずなネットは全保護者には加入することはできなかった。防災情報を素早く発信することができるよう今後も努力していきたい。
学習指導 (教務部)	確実な学力の定着	① 予習・復習の徹底及び確認 ② 休日・長期休業における課題の活用	① 授業や面談、講話等を通して予習・復習の習慣が定着するように指導してきたが、まだ十分とはいえない。学習定着週間や面接週間を有効活用すると同時に、予習・復習が不可欠な授業内容についても研究していかなければならない。 ② 落ち着いた雰囲気の中で授業に取り組んでいる。生徒の学力をより一層伸ばすための具体的な方策について、引き続き検討していきたい。
生徒指導 (生徒指導部)	① 基本的な生活習慣の育成 ② 主体的に行動できる生徒の育成	① 遅刻・身だしなみ指導の充実 ② 情報リテラシー教育への取組 ③ いじめの予防	① 遅刻数は激減している。身だしなみも1・2年生は新しい基準をよく守っている。 ② 携帯・スマホ使わない週間を新しく導入。よく守れていた。 ③ アンケートを実施し、早期発見に努めた。
進路指導 (進路指導部)	3年間を見通した進路指導の充実	① 生徒・保護者の進路意識の更なる向上 ② 生徒の主体的な進路選択能力育成に向けた指導体制の充実	① 「進路の手びき」を一部拡充した。今後も内容をより精選していく。類型説明会や、進路に関する懇談会においても進路情報の発信に努めた。 ② 総合の内容や進路課題の変更を通じ、生徒の進路意識の向上を図った。総合についてはまだまだ変更の余地がある。
学校保健 (保健厚生部)	① 健康教育 ② 生徒相談の充実	① 健康教育を充実させる。 ② 教育相談体制の充実を図る。	① 各委員会は時期に応じた情報提供を概ねできていたが、生徒がより主体的に活動できるように、場面や内容についても検討していきたい。 ② 相談室のあり方について再検討し、開室時期や開室時間についても工夫を重ねた。相談体制全体の構築を含めて検討が必要である。
読書活動 (図書部)	図書委員会活動の充実	① 定期的に図書委員会を開き、行事の準備を計画的に進めさせる。 ② 図書館活動での地域交流	① 行事ごとに委員会を開き、委員の生徒で役割を分担した。また各行事のテーマに沿った調査・研究をすすめ、期日までに資料の作成・展示や発表をすることができた。今後も生徒の主体性を尊重した委員会活動がすすめられるよう、教員も活動に寄り添い、適切な助言を与えられるようにしていきたい。 ② 地域の施設(市役所、図書館)と連携をとり行事を充実させることができた。
部活動 学校行事等 (生徒会部)	① 部活動の充実と整備 ② 生徒会行事の充実と整備 ③ 執行部の活動の充実	① 部活動の活性化と活動規則の見直しを図る。 ② 学校行事の活性化と内容の見直し。 ③ 福祉・ボランティア活動の充実を図る。	① サッカー部、吹奏楽部を中心に、運動部・文化部ともに活躍することができた。新たにトレーニングルームを設置して、筋力面での強化を図ることができた。 ② 応援の人数や発表場所の移動、発表時間の見直し、PR活動の導入などたくさんの改革を試みた。多くの反省をもとに、来年度は修正を図り、よりよい行事にしたい。 ③ 東日本大震災ボランティアに参加することができた。来年度は施設訪問などのボランティア活動をさせたい。
意欲的な 高校生活 (1年)	① 自発的な学習態度の育成 ② 基本的な生活習慣の確立 ③ 学校生活の充実 ④ 自律した生活	① 自発的に学習に取り組む姿勢を育成する。 ② 時間や規律を守らせる。 ③ 部活動を奨励する。 ④ 自ら考えて行動する習慣をつけさせる。	① 朝学やクラス独自の課題に主体的によく取り組む姿がみられた。 ② 遅刻数は大幅な増減はなかったが、減らせるような事情も多くあったので、もう少し減らせるよう啓発していく。 ③ 学習と両立しながら、取り組むことができた。 ④ 式典などその時々に応じて声かけをし、考えさせることができた。
意欲的・自律的な学習や生活 (2年)	① 学習環境の整備 ② 学習習慣の定着 ③ 基本的な生活習慣の確立 ④ 進路目標の設定	① 教室環境の整備と授業規律の一層の向上 ② 適切な学習課題の設定 ③ 身なり、遅刻、礼儀の指導 ④ 補習・模試・面談の活用	① 全体として落ち着いた環境である。授業規律も守られた。 ② 週末課題や小テストなど継続的に行う取り組みができた。 ③ 多くの生徒はきちんとした学校生活を送れているが、まだ安易な遅刻があったり、授業規律を守れない生徒もいた。来年度は最終学年でもあるのでしっかりやらせたい。 ④ 面接週間を活用したり、補習や模試の機会に進路意識を高める働きかけを行った。
進路目標達成 (3年)	① 自発的な学び ② 努力の継続 ③ 大人の振る舞い ④ 学校生活の充実	① 個に応じた具体的指導 ② 面談、課外学習の充実 ③ 身なりの指導の継続 ④ 行事や部活動における助言	① 学習の機会、方法を提示し、特に後期には取り組みが向上した ② 生徒に寄り添った粘り強い進路指導補習土曜学習会を行った。 ③ これまでの指導を継続し、式典等では整った身なりであった ④ 学校行事、部活動、生徒会活動、地域との連携など様々な場面で激励、助言、指導を重ね、積極的に取り組むことができた。
総合評価	① インターンシップや補習等の申込者が進路についての関心意識は高まっている。校外模試の回数も増え年内変化の把握が容易になった。高大接続改革を踏まえ主体的・対話的・深い学びができるように授業改善を続けていく。 ② 学級増であったが生徒指導関係の諸統計は好転している。対人関係の構築がうまくできずトラブルになるなどの事例が顕在化することが多くなっている。職員の研修も含め相談活動等の支援体制をより整備する。 ③ 学校行事や部活動指導の在り方等について検討を加えさらに活力ある学校とし、保護者・地域社会への発信を積極的に行い近隣の大学等と連携し信頼される学校をめざす。		